

## 令和元年度業務実績評価（案）に対する分科会委員意見とその対応（案）

項目	委員意見	回答・対応（案）
10 高齢者に特有な疾患と老年症候群を克服するための研究 事務局評定：S	・本項目の研究は、世間一般で見て取扱いが少なく、都内の高齢者の健康の維持及び増進に寄与するという法人目的に沿った、法人ならではのものであると言える。本年度の実績と過年度の取組を踏まえ、評定Sが適正と考える。	・趣旨を意見書に反映
12 老年学研究におけるリーダーシップの発揮 事務局評定：A	・本項目の実績（学会・論文発表数等）について、昨年度と比較すると数値としては落ちているため、A評定とするには検討の余地があると思うが、いかがか。	・昨年度の実績と比較すると確かに落ち込んでいるものの、目標値を大きく超えており、高齢者ブレインバンクにおける着実な取組等や、過年度との相対評価を含めて総合的に評価した結果、評定Aとしたい。
13 研究推進のための基盤強化と成果の還元 事務局評定：S	・本項目の実績については、もう少し伸びしろがあるように見受けられるが、いかがか。	・確かに実績については、今後も伸びる余地があり、実績だけで評定Sとすることは難しい。しかし、昨年度に立ち上げた研究支援組織が迅速に成果を出し、特許新規申請件数を大きく伸ばしていること等を踏まえ、総合的に検討した結果、評定Sとしたい。
19 コスト管理の体制強化 事務局評定：B	・コスト削減のため、看護師修学資金等の仕組みを見直したとのことだが、専門人材の育成（項目15）的観点から、問題は無いのか。	・コスト管理の体制強化については、材料費及び医薬品の抑制や、診療科別原価計算の分析等に取り組み、収支改善に努めている。 ・看護師修学資金は、人材育成ではなく人材確保を目的としたものであることから、コスト削減の一環として実施した本制度の廃止をもって、センターにおける人材育成が後退することはないと考える。 ・職員の能力向上に向けた取組については、令和2年度から特定行為研修（研修を修了することで従来よりも高度な医療行為の実施が可能となる）の受講を計画するなど、着実に実施している。
総評	・組織全体で経営基盤の更なる強化に取り組み、業務の効率化及び収支の改善に努めてほしい。	・趣旨を意見書に反映
その他意見	・評価に当たり、標準化された目標値や、他の病院の参考値等、客観的に評価するための指標を示してほしい。	・趣旨を意見書に反映。今後の検討課題とする。